

第48回 日本赤十字リハビリテーション協会学術集会

共催: 第48回日本赤十字リハビリテーション協会学術集会 / 株式会社ホームイオン研究所

謹啓

時下、ますますご盛栄のこととお喜び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
さてこの度、第48回 日本赤十字リハビリテーション協会学術集会と
株式会社ホームイオン研究所にて特別講演を共催させていただき運びとなりました。
皆様方におかれましてはご多用のことと存じますが、
何卒ご参加くださいますようお願い申し上げます。

謹白

日時

2022年2月26日(土) 12:00～13:00

会場

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院
日赤愛知災害管理センター棟 3F マルチホールA

ランチョンセミナー

座長 永田英貴 先生

所属: 日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 医療技術部リハビリテーション科

SL1

特別講演1

「健康寿命を延伸する運動と栄養」

講師 森谷敏夫 先生 所属: 京都大学名誉教授、中京大学客員教授

健康寿命を損ねてから要介護となり平均的に男性では約9年、女性では約12年を経てこの世を去ることになる。この期間に一生で使う医療費の70%近くを使う可能性も指摘されている。この講演では、健康寿命延伸のために必要な食・栄養と糖尿病や認知症の予防・改善における運動(骨格筋電気刺激による他動的運動も含む)の役割を最新の運動医科学の知見に基づき分かり易く解説する。

※特別講演1はお申し込みが必要です

お問い合わせ先

第48回日本赤十字リハビリテーション協会学術集会 事務局

〒466-8650 名古屋市昭和区妙見町2番地の9

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 医療技術部リハビリテーション科

E-mail: 48jrcra2021@nagoya2.jrc.or.jp

TEL: 052-832-5371 (ダイヤルイン)

学術会HP: <https://www.nagoya2.jrc.or.jp/rehabilitationka/>

dai48kainihonsekijuuujirihabirite-syonkyoukaigakujutsusyuukai/

学術集会HP



特別講演 1

「健康寿命を延伸する運動と栄養」

講師 森谷敏夫先生 所属：京都大学名誉教授、京都産業大学、中京大学客員教授

健康寿命を損ねてから要介護となり平均的に男性では約9年、女性では約12年を経てこの世を去ることになる。この期間に一生で使う医療費の70%近くを使う可能性も指摘されている。この講演では、健康寿命延伸のために必要な食・栄養と糖尿病や認知症の予防・改善における運動（骨格筋電気刺激による他動的運動も含む）の役割を最新の運動医学の知見に基づき分かり易く解説する。

講師略歴



森谷敏夫先生

1950年、兵庫県生まれ。

1980年、南カリフォルニア大学大学院博士課程修了(スポーツ医学、Ph.D.)。テキサス大学、テキサス農工大学大学院助教授、京都大学教養部助教授、カロリンスカ医学研究所国際研究員(スウェーデン政府給費留学)、米国モンタナ大学生命科学部客員教授等を経て1992年、京都大学大学院人間・環境学研究科助教授、2000年から同科教授。2016年京都産業大学客員教授、2016年から京都大学名誉教授、中京大学客員教授、現在に至る。専門は応用生理学とスポーツ医学。

【国際学会基調講演・招待講演】

昭和60年 6月 スウェーデン国における第10回国際バイオメカニクス学会基調講演
 昭和61年 11月 アメリカ合衆国における第4回国際電気電子工学会招待講演
 平成 3年 12月 オーストラリア国における第13回国際バイオメカニクス学会基調講演
 平成10年 6月 カナダ国における第12回国際電気生理運動学会基調講演
 平成14年 6月 オーストリア国における第14回国際電気生理運動学会招待講演
 平成15年 6月 ニュージーランド国における第19回国際バイオメカニクス学会基調講演
 平成16年 6月 アメリカ合衆国における第15回国際電気生理運動学会基調講演
 平成16年 7月 フランス国における第9回ヨーロッパスポーツ科学学会招待講演
 平成18年 6月 イタリア国における第16回国際電気生理運動学会招待講演
 平成19年 7月 フィンランド国における第10回ヨーロッパスポーツ科学学会招待講演
 平成24年 7月 アメリカ合衆国におけるストレングス&コンディショニング協会特別講演
 平成24年 7月 オーストラリア国における第19回国際電気生理運動学会基調講演

【学会理事・評議員・顧問】

国際電気生理運動学会(元会長、終身フェロー)、国際バイオメカニクス学会理事、アメリカスポーツ医学会評議員、日本運動生理学会理事、日本体力医学会理事、日本バイオメカニクス学会理事、ネスレ栄養科学会議理事、日本肥満学会評議員、国際統合医学会顧問、NSCAジャパン理事長、EBH推進協議会理事長などを歴任

【現在の関心・研究状況】

生活習慣病の温床になる肥満のメカニズムに関する研究に取り組んでおり、寝たきり患者や整形外科的に運動が出来ない人々のための骨格筋電気刺激にも精力的に研究を進めている。

【主な一般向け著書】

「京大の筋肉」デジタルアーカイブズ(株)・「ダイエットを科学する」デジタルアーカイブズ(株)
 「生活習慣病の面白健康科学」(財)国際高等研究所・「メタボにならない脳のつくり方」扶桑社
 「ボディ・リストラクチャリング」森永製菓(株)健康事業部・「からだと心の健康づくり」中央労働災害防止協会

【テレビ出演】

NHK:ためしてガッテン、生活ホットモーニング、土曜フォーラム、日曜フォーラム、おしゃれ工房など
 テレビ東京:タケシのニッポンのミカタ
 日本テレビ:世界一受けたい授業

【被取材記事】

月刊糖尿病ライフ「さかえ」12回連載、京都新聞「おもしろ健康科学」12回連載、毎日新聞「らくらく健康術」9回連載、その他掲載記事多数